

エリア構想図等（案）について

- 凡例**
-  : 勾当台エリアのまちづくりを牽引するため、早期の施策具体化に向け検討を進める重点ゾーン
 -  : ポイントとなる公共施設・公共空間等
 -  : 今後の施策検討のイメージ
 -  : 周辺とのつながり

勾当台エリア
 愛宕上杉通界限～西公園通界限
 ～市役所界限～元鍛冶丁公園界限

【「勾当台エリア」の名称について】
 第1回懇話会で提示したエリアの範囲から西側へと拡大することに伴い、空間的に連続し、まちづくり活動等においても密接に関係する「定禅寺通」の追記等を検討中。

【メディアテーク・県民会館周辺】

- 定禅寺通・地域との連携を深め、施設とエリアとが魅力向上の相乗効果を生む
- 文化・芸術等の資源を、集客や滞在時間の延長につなげる

【市民会館・西公園北端周辺】

- 西公園～青葉山との結節点となる
- 定禅寺通や西公園のみどり、広瀬川左岸という特性や他のエリアとのつながりを活かす

【主に民有地】

- 居心地のよさの向上や滞在時間の延長を図る
- 施策の組み合わせにより相乗効果を生む
 (リノベーションや新規・共同化開発、建築物の用途・機能の複合、グリーンインフラの見える化、起業・開業者の定着、公共空間利活用の仕組みづくり、表通りと街区奥との人の行き来、等)

【北庁舎周辺】

- 勾当台エリア北側の都心居住者の集積地とのつながりを生む
- 市役所本庁舎等との近接性を活かし、幅広い視点から有効な土地活用を図る

【重点：市民広場周辺ゾーン】

- ◎The Greenest “Center” のまさに中心として、賑わいや空間の連続性を高め、仙台・勾当台エリアを代表する「協働の広場」をつくる
- ◎人々の多彩な活動の様子が見え、その光景がさらに多くの人々を惹きつける循環を生む
- ◎地形や歴史とともに都心のみどりに触れ、質的な豊かさを実感できる、杜の都の象徴となる

【錦町公園・錦町庁舎周辺】

- 本町・錦町～花京院～仙台駅との結節点となる
- 居住者や就業者等が気軽に足を運ぶ、多様な人々の日常的な居場所を目指す

【重点：定禅寺通ゾーン】

- ◎人々の滞在と活動を生むための、居心地が良く歩きたくなるまちなか形成（右図参照）の先進地となる
- ◎知名度・独自性を活かしながら、定禅寺通活性化検討会をはじめとする多様な主体との協働まちづくりを進める
- ◎ケヤキというエリアの資源を未来につなげる



下：国土交通省資料より

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりのキーワード

- Walkable** 歩きたくなる
- Eye level** まちに開かれた1階
- Diversity** 多様な人の多様な用途、使い方
- Open** 開かれた空間が心地良い

